

「玉名市立地適正化計画（素案）」に関する意見募集の結果及び玉名市の考え方について

令和3年12月6日
玉名市建設部都市整備課

「玉名市立地適正化計画（素案）」について、市民等の皆さまからのご意見を募集したところ、次のとおりご意見をいただきました。寄せられたご意見の内容とこれらに対する市の考え方を示しています。

1 意見募集期間 令和3年11月1日（月）～11月30日（火）

2 意見提出件数 1件（1人）

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
1	<p>玉名市は人口減少傾向にあり、今後の立地適正化は現存の玉名市各地域をいかに活性化するかが特に肝要である。然るに、新玉名駅が偶々（現地住民等の活動はあったが）JRの計画で市北部に出来たこと、更に、県北病院が近くに建設され、すでに新市役所も近くにあることからその周辺を玉名市中心都市とする動きが起きたことは自然ではあるが、もしその動きでいけば玉名市の発展に重大な危険な影を落とす。</p> <p>市長の公約にもあり、市民も漠然と期待感を持っている新玉名駅周辺の場にショッピングモールや居住地の建設を謳っているが、それは玉名市をしてコンパクトシティーではなく、スプロール現象（ダダびろっく無定見に拡大する現象）を形成せしめることになり、従来の、玉名駅から東1キロ程度の繁根木商店街は衰退の一途を辿り、そればかりか、その端から裏川沿い半キロほど北に延びる田中町商店街境界も衰退・瀕死の状態であるのに、県北病院と新幹線駅を中心に更に小都市を作るという無茶は玉名市を</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見（人口減少、新玉名駅周辺整備、既存商店街への対応、旧市役所周辺、各地域拠点への対応、企業誘致の推進等）につきましては、今後のまちづくりを進めるにあたり、その検討が必要な事項であると認識をしているところです。</p> <p>市といたしましても様々な取り組みを行っており、その方策の一つとして、立地適正化計画の制度があると考えています。</p> <p>今後、いただいたご意見も踏まえて、本計画の基本理念である「利便性が集約された 居住者も来訪者も利用しやすい県北の拠点都市」を目指し、引き続き、取り組んでまいります。</p>	修正なし。

破壊する罪深い計画であり、決してバラ色の玉名市を造ることはできない。

全国的に人口減少の波のうねりは如何ともしがたい。それなら、今ある商店街や各地域にあるミニ商店街の復旧計画こそ玉名市の市長や行政がなすべき姿勢たるべきである。例えて言えば、一升榧の容量は変わらないのだから、一方が栄えればもう一方は衰弱するしかない。この立地新構想は妄想でしかない。

人口減少による商店街の疲弊ばかりか、対象外の天水、横島、大浜、岱明は蚊帳の外(何らかのにとってつけたような施策はあろうが、本来の対策地でないので、恩恵は期待できない)で、これまた衰弱化にある。更に玉名市の東西南北の外れにある各限界集落は消滅に任せられている。その様な地の生活の困難さを真剣に考える時期であるのに逆行せんとしている。

年寄りには、遠いところにモールができて、且つ、とても不便な距離に大きな病院ができて、日常的には行けない(逆に、皮肉にも元からある各地の医院への期待・依存が増大する)。市役所も元の所があれば何とか行けても現在地は遠すぎである(新市役所だけ豪華で権威の象徴のような姿は無辜の市民を嘲笑っているようである。旧市役所のまま、雨漏りがしても市民が健在で多少でも豊かな繁栄がみられればあえて古い役所に甘んじるといふ気は微塵もなく現在の市役所建立に至ってしまった。公尊民卑に憂える)。これらの施設は何れも場所を変えずに、同じ場所に再生すれば少なくとも商店街やその周りの様々な小施設などもこれほど落ち込むことはなかったのではないか、たとえ、落ち込んでいても復興に市、市長、議会と市民全体で取り組んでいたならば何とか歯止めは利いたはずである(旧市役所、旧中央病院の今後の方針すらなく放棄状態に旧地域住民はわびしさを覚えるだけ)。

しかし、もうできたものは仕方がな

い。それでは広大な地域に何をもっていけばよいか。スポーツ施設、音楽の広場、プロ野球のキャンプ地（これらは、いずれも平地利用であり箱ものではない、財政多難の時、箱物を建設して宣伝吹聴することは恥すべきであり、造らないこと、ソフトインフラを造ることに腐心すべきである）、民間の工場などを誘致することに限る。それであれば、文化、スポーツ・芸術を楽しめ生活の拠点は離れることもない。工場誘致は当然人口増加に寄与する（法人税の据え置きなどの措置を国と掛け合って可能か、また、そうでなければ時限で市側が法人税の肩代わりをすれば、工場誘致は容易に実現できよう）。

ショッピングモールの誘導は期待できないのが現実ではないだろうか。現在あるユメタウン、ダイレックス、マルキョウ、マルエイ、ヤマダ電機、ベスト電器、ドラッグモリなどはすべて街中にあり突飛に離れていないことは、顧客がすべて車ではなく、徒歩、自転車の客も大勢いると踏んでの大型店舗側が検討の末に立地を決断したと思われる。さらにモールの建設は、業者の側も逡巡が当然考えられる。工場建設なら市にも市民にも喜ばしい話である。ブリジスストーン級の工場を誘致する手腕を市長・市に期待したい。

最後に、従来の商店街の復興に心血を注ぎ、旧郡部を見捨てない思いやり、さらに遠く離れた村落の没落を救い上げることを、最優先に行政、議会、市民一体となり取り組み、仁愛の精神で心豊かな都市づくりを願う。